

# 施策評価シート

評価年度	平成24年度	事業実施年度	平成23年度	施策主管次長名	環境経済部次長 林 茂実
施策番号	65	施策名	にぎわいと交流のあるまち		
関係課名	産業課、教育行政課				

## 1. 施策の概要

施策の目的	対象	対象指標名		単位	H22実績	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
		・市民 ・事業者(商業者)	人口	人	58,216	58,762	60,600	61,400	62,500	63,700
商業者数	人		1,255	1,255	1,260	1,265	1,270	1,275		
商業従事者数	人		14,505	14,505	14,530	14,555	14,580	14,605		
商工会商業者会員数	人		514	502	515	520	525	530		
意図	・市民がまつりに参加し、相互に交流を図る ・まつりを通じて、みよし市のPRを行う ・中小企業者(商業者)の活性化を図る	成果指標名	いいじゃんまつり参加グループ人数							
			三大まつり観客数							
			商業者の小規模企業等振興資金利用件数							
			商業者の商工会加入率							

## 2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H22実績	H23計画	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
	いいじゃんまつり参加グループ人数	人	3,000	3,500	2,000	3,500	3,500	3,500	3,500
	指標設定の考え方と把握方法  いいじゃんまつり参加人数で市民の交流度合いを把握する(観光協会資料)								
指標	成果指標名	単位	H22実績	H23計画	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
	三大まつり観客数	人	113,000	115,000	87,000	115,000	115,000	115,000	115,000
	指標設定の考え方と把握方法  三大まつりの観客数で市民相互の交流度合い、本市への近隣からの交流人口を把握する(観光協会資料)								
指標	成果指標名	単位	H22実績	H23計画	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
	商業者の小規模企業等振興資金利用件数	件	28	50	44	40	40	40	40
	指標設定の考え方と把握方法  商業者の経営、資金繰り状況を把握する(産業課資料)								
指標	成果指標名	単位	H22実績	H23計画	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
	商業者の商工会加入率	%	41.5	42.6	40.0	40.5	41.0	41.5	42.0
	指標設定の考え方と把握方法  商業者の組織化を把握する(商工会資料)								

## 3. 施策の評価

項目	評価のコメント				
施策の効果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	・三大まつりは、市民の自主参加と地域が一体となって盛り上げ、市民相互の交流を深める ・地域の商業施設、店を利用する。			
	行政	・魅力あるイベントを企画し、市民交流の推進を図り観光資源を市内外にPRする。 ・中小商業者の融資円滑化を図るとともに経営改善に積極的に取り組んでもらう。 ・商工会、商工団体が実施する事業への支援を行う。			
達成度評価	成果目標(指標計画値)と現状との比較	・指標 は計画値3,500人に対し2,000人、 は計画値115,000人対し87,000人と大きく下回った。昨年のいいじゃんまつり、大提灯まつり前夜祭当日の天候不良と、自動車関連企業の土日操業の影響があったと思われる。 は計画値50に対し44と下回った。 は計画値より2.4P下回った。			
	近隣との比較	・指標 、 について豊田おいでんまつりとの踊り参加者、観客数を比較すると、おいでんまつりの参加者は9,009人で豊田市の人口に占める割合が2.1%、花火を含む観客数は、471,185人で、人口における割合が111.4%、いいじゃんまつり参加者は2,000人で人口に占める割合が3.4%、観客数については、87,000人で、148%となっており、単純に比較はできないが、多くの市民交流がなされているものと考えられる。			
	過去3年間の実績との比較	・指標 、 は、はやや減少傾向にある。指標 は、平成22年度は減少したものの23年度は平年並みになった。指標 は、事業主の高齢化、後継者不足等による廃業などにより減少傾向にある。			
【優先度評価】 成果向上の余地、市長マニフェストとの結びつき、緊急度など	・まつりについて新たな企画等を取り入れることにより、参加者、観客数の増加は期待できる。 ・大規模小売店の出店により買い物に対する市民の利便性の向上は図られるが、一方で、既存商店の魅力をアップさせ、活性化させる必要がある。				
【総合評価】 今後の方向性、課題解決のための事務事業の見直しなど	・「三大まつり」は、参加者が安全・安心して参加できるよう努めるとともに、観光資源PRに努める。 ・商工会が行う、商工業の活性化及び既存商店の魅力アップづくりを支援する。 ・中小商業者の資金繰り支援と、商業者の経営安定支援に努める。 ・商業集積地(三好ショッピングセンター)周辺整備の協議。 ・中心拠点における複合施設整備を推進する。				
市民意識	重要度	低い	満足度	高い	平成23年度市民アンケート調査による